

# 南国新聞

- 大詰めがきた農協合併を考える…(2～5)
- トピックス・はたちの表情、消防出初め式…(4～5)
- 市民のひろば・新成人の優秀感想文……(6)
- 正月クイズ当選者発表……(6)
- おらんくだより・北陵中PTA白木谷支部……(7)
- 市民税などの申告は3月15日まで……(8)

No. 132



## キャンドル成人式 はたちの自覚あらたに

おとなになった自覚と自ら社会で生き抜こうとする若い人たちを祝い励ますための成人式は、1月15日、市民体育館で約500人が参加して行なわれました。

ことし祝福されたおとなは649人(男子346人、女子303人、昨年より85人減)。利岡教育長、金堂市長から「よく勉強し、強い根性をもって、市民として日本人として、ふさわしい人間になってほしい」と励ましの言葉がありました。

式典の盛りあがりを見るところで、ことし始めてのこころみであるキャンドル・サービス。いっせいに暗くなった会場を山本周正さん(国府)が神の火を手に入場。新成人がコの字型にかこんだ中を一周して、正面の菅火に点火。そして「希望、団結、愛情、若人」の四つのローソクにつぎつぎに火がともされそれぞれ力強く誓いの言葉をのべたあと、全員が手にしたローソクに、あかあかと火が移され、あすへの希望にみちた人生を象徴するかのような緊張した一瞬。最後に松本信彦さん(浜改田)松岡梨枝子さん(宇田)の二人が、「かぎりない夢をもった若人として明るく力強く輝くことを誓います。」と力強い誓いの言葉がありました。

式のあとは、若人の合唱、それぞれ思い思いに肩をならべ、記念写真や振りそで姿で献血など、有意義な一日をすごしました。

# 2

1972